

23目標

論文直前期セミナー

冒頭 30 分・・・セミナー

後半・・・質疑応答

【本日の内容】

- I 合格に必要な力 直前期 4 週間のポイント 概要・詳細
- II 計算科目のメンテナンス例・各科目のポイント p.8-
- III 持ち物リスト・当日のポイント p.14-
- その他 重要事項再掲・就活について

論文リスタート生・12→8月生向け公式 LINE・・・LINEID @23tac_ron

[LINE 追加リンク](#)



5→8 生向け公式 LINE・・・ LINE ID @23tac58

<https://lin.ee/GZRizG1>



本試験当日、みんなが取れる基礎的な問題で得点する。

応用的な問題は、時間を見つつ、基礎の組み合わせで取り組む。⇒合格

論文式試験 必要な力[全般](大部分は短答対策と共通)

Input面

★ テキストや問題を形式的に何度も「回転」するのではなく、
その時々で「どんな力を伸ばすか?」目的を持って取り組む。

- テキストについて、理解している(比較ができる、具体例が説明できる)。
- テキストを閉じた状態で、基本的な内容を想起・説明できる。

★ 「知っている」「見ればわかる」では足りない。
問題を解いた後、「テキストの周辺論点」まで想起できるかを意識。

Output面

- 問題文を読み、テキストのうち、どこが問われているか掴める。
★ アウトプットを通じて、テキストのインプットの穴発見。
- 問題に対して、素直に「過不足なく」答えられる。
- 基準集が使える(監査論、租税法、財務理論、企業法)。
- 得点に繋がられる。(試験前のピーク合わせ、時間配分・難易度の読み取り、読み飛ばしなどのやさしみス対策、部分点獲得等)

合格するために・・・

直前4週間 ポイント概要

まずは

苦手かつ重要な論点をつぶす。必要なら修正行動を取る。

⇒8月はバランス重視!得意なものも点検。

答練・テキストの復習等を通じて、

インプットの詰め・アウトプット能力「双方」を高める!

※残っている答練

理論科目は、答案構成を行うことで使う。

★理論科目・・・本試験中、問題を読み取る局面(答案構成)と、答案を実際に作る局面の2つがある。

論文直前期4週間 詳細ポイント

1. 模試で感じたインプット・アウトプットの穴について、修正行動を早めに終わらせる。

修正対応済みなら、バランスを重視した回転に移行。 7月中⇒苦手かつ重要なもの 8月⇒得意なものも点検

必要であれば、毎日確認すべき科目（財理・租税や暗記物等）を除き、

修正行動が終わるまでは、学習時間の配分・バランスは多少崩しても OK。

7月いっぱいが許容範囲だが、できるだけ早く回転に移行できるように。

2. 論点ズレの原因となるため、答練の模範解答「丸暗記」はしない。

あくまで試験中の行動（問題文の読み取り・問いに対して素直に丁寧に答える）や、試験前の過ごし方の修正材料とする。テキストに戻って周辺をインプット。

★企業法は、理論補強答練も含め、全ての答練について答案構成を行い復習。

3. 全科目、テキスト・基礎的な内容をより大事に、ピークを合わせる。

インプット確認だけでなく、今まで学習してきたことが本試験当日よどみなく「アウトプットできるか？」も意識。

★計算科目は、テキスト確認の他に、やらかしミス対策・難易度の見極めや集計力等維持のため、アクセス・答練一部を用いて、資料読み取りや実際に手を動かして解く練習も行う。

★暗記の精度を高めるべきものは、頻度アップ。

★体調・メンタル管理。睡眠を大事に。

★遅くとも8月以降のラスト2週間は、バランス重視！

全科目バランス良く仕上がるように、全科目論点1周＋αメンテナンス・総復習。
「この科目さえどうにかなれば…」と特定の科目に偏り過ぎない。特に58生は注意。
成績が比較的好かった科目について「もう大丈夫」と放置しない。

模試後の修正行動について

★「ここが出たら嫌だな…」という論点をリストアップして、遅くとも7月中にクリア。

よくある原因例と対策

インプット不足

- 暗記不足 → 重要かつ苦手なものについて、頻度アップして暗記
- 理解不足 → 今回の模試やこれまでの答練復習を通じて、周辺の理解強化

アウトプット面 試験中の行動

■ 大問ごとの時間配分

例①: 租税法理論に 50 分以上掛けた → 答練の解き直し時に時計を見る

例②: 計算で粘り過ぎて他の大問の時間不足 → 制限時間を 20 分ほど少なくしてアクセス難易度Aを拾う練習

■ 読み飛ばしなどやらかしミス

→ そこまで解き慣れていない総合問題を時折使って、正確性を意識して演習。消せる色ペンを使うなど工夫。

■ 問題文の読み取りが△・素直な答え方をしていない → 問題文と模範解答の対応を分析

■ 一般論で終わっており、問題に応じた具体的な論述をしていない → 同上

★ 模試について、手応えと成績が大きく乖離している場合
問題・模範解答・解説と自分の答案を再度確認。
適宜質問コーナー(1対1)・質問ルーム(1対複数)等を活用。

論文式試験 当日のポイント

計算・理論科目共通

- 大問ごとに得点比率(≒偏差値)が付く。時間配分に注意する。
難易度にもよるが、大問一つについて、1時間を大きく超えないように。
大問ごとに平均を死守する。**※素点ゼロの大問は、得点比率もゼロ**となる。1点は取る。
- 解答用紙・解答欄取り違えに注意。指差し点検。

計算科目

- 比較的平易な箇所を**正確性**を重視して正答すれば、合格点に届く。普段通り解く。
単位や四捨五入の指示にチェック。

理論科目

- 「**答練が当たった!**」「**もらった!**」等思った時ほど、**要注意**。
論点を早合点しない。問題文を丁寧に読み取り、問われていることを見定める。
ex.「～の観点から」「～に照らして」「～を踏まえて」「～と比較しながら」
- **解答行数が余ったとしても、余事記載**(問われていないことまで記述)で埋めない。
問いに対して、素直に丁寧に、「過」不足なく答える。
- 応用的な問題は、時間を掛けすぎないように、時計を見てから解き始める。

成績の決まり方 再確認

- 「大問ごと」に得点比率(≠偏差値)が付く。

大問ごとの配点に応じて加重される。「大問ごとに守る」。大きく苦手な論点を作らない。時間配分に注意。
管理は、第1問から1問→第2問から1問と交互に解くなど。

ex. 会計学第3問 素点 20 点/60 点

偏差値(得点比率) 50 →大問の満点 60 点 $\times 50/100 \rightarrow$

「調整後得点」 30/60 点

大問ごとの配点

会計学第3問 60 点 第4問 70 点 第5問 70 点

租税法第1問 40 点 第2問 60 点

その他は全て 50 点ずつ

※財務会計と租税法第二問(計算)は、他の科目よりも総合偏差値への影響が大きい。基礎的な問題で守れるように。

- 科目全体合計で偏差値 40 未満の科目がある場合、足切り(大問ごとの判定ではない)

- 大問ごとに素点ゼロは、調整後得点もゼロと換算される。

特に、管理会計 第2問(管理会計分野)や企業法は要注意。

- 企業法で、余事記載により重大な減点となったケースあり。

解答行数が余っても「なお、…」など無理に埋めず、先へ進む。

計算メンテナンス例・各科目のポイント

計算科目 メンテナンス例 ★正確性・スピード・網羅的な知識

■財計 問題を一部解いて▶周辺テキスト確認 ★「テキストを見るだけ」「問題を眺めるだけ」…△

論文アクセス・答練のうち、主に難易度A部分を解く。関連する財理論証もついでに想起して、アウトプットの機会とするとなお◎

★企業結合など忘れやすいものは、8/12以降取り組むなど工夫。

■租税法 アクセスや答練を一部解いて▶テキスト周辺想起・暗記。特に各税法基礎的な論点を重視。

暗記のため、毎日3税法少しずつでも触れると定着する。

法人①:所得基礎:消費基礎(特に売上側)

= 4 : 2 : 1 の配分を目安に毎日など

重要性は論文学習法セミナー資料参考

■管理

目次から処理や理屈を【即座に】想起/テキスト確認 ▶ 翌日に該当箇所のアクセス半分や答練4分の1ずつなど
(10日で回す場合、テキスト前半・後半少しずつなど)

★逆進・推定問題が極度に苦手な場合、2週間に1度ほど応用答練などから一部使って感覚を戻すなど

★財務諸表分析など忘れやすいものは、8/12以降取り組むなど工夫。

■経営学

トレーニングレベル1のうち、奇数番号や5問飛ばしなどで数問ピックアップして、1日1・2章など。

参考:財務計算「ポイントチェック」PDF

24 目標向けの新作教材だが、参考として 23 目標 Web School「教材」欄にアップ済。

出先ですぐにテキスト要点を確認したい際などに活用。

第49章 連結財務諸表（間接所有）

第17章 リース取引

【リース取引（その2）】

○ 維持管理費用

- ・ 割引現在価値の計算に含めない（リース料総額から控除する）
※支払リース料＝リース債務＋利息相当額＋維持管理費用
- ・ 「維持管理費（販売費及び一般管理費）」として各期に費用計上する

○ 残価保証

- ・ 割引現在価値に含める（リース料総額に含める）
- ・ 所有権移転外ファイナンス・リース取引において、減価償却計算の残存価額とする

【リース取引（その3）】

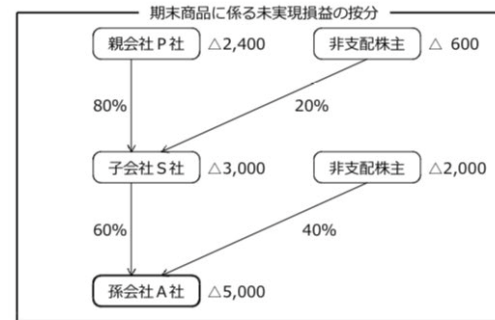
○ 貸手の処理

	リース取引開始日に売上高と売上原価を計上する方法	リース料受取時に売上高と売上原価を計上する方法	売上高を計上せずに利息相当額を各期へ配分する方法
貸出	リース債権60,000 売上高60,000 売上原価50,000 貸出金50,000	リース債権50,000 貸出金50,000	リース債権50,000 貸出金50,000
貸受	現金預金12,000 リース負債12,000	現金預金12,000 売上高12,000 売上原価8,799 リース負債8,799	現金預金12,000 リース負債8,799 受取利息3,201
貸戻	貸出金6,799 貸戻リース債 6,799	—	—
期終	決算整理後残高試算表	決算整理後残高試算表	決算整理後残高試算表
	リース債権48,000 売上原価50,000 貸出金6,799	リース債権41,201 売上高12,000 売上原価8,799	リース債権41,201 受取利息3,201
	貸借対照表	貸借対照表	貸借対照表
期首	リース債権41,201	リース債権41,201	リース債権41,201

- ・ 各期の利益はどの方法を採用しても同額になる
- ・ 所有権移転ならリース債権、所有権移転外ならリース投資資産を計上する
- ※リース取引が主たる営業取引の場合には流動、そうでない場合は一年基準により表示
- ・ オペレーティング・リースの場合：リース料受取時に当該受取額を収益計上

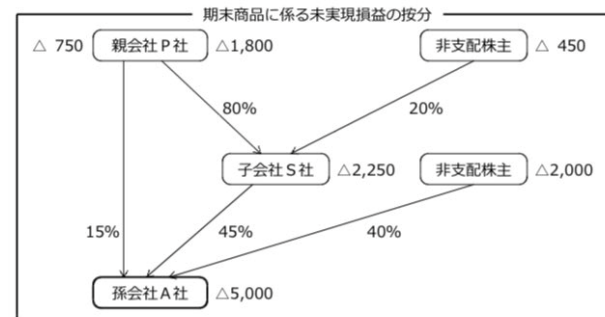
○ 孫会社が未実現損益を計上している場合（間接所有）

(借) 売上原価	5,000	(貸) 商品	5,000
(借) 非支配株主持分当期変動額	2,600	(貸) 非支配株主に帰属する当期純損益	2,600



○ 孫会社が未実現損益を計上している場合（直接所有＋間接所有）

(借) 売上原価	5,000	(貸) 商品	5,000
(借) 非支配株主持分当期変動額	2,450	(貸) 非支配株主に帰属する当期純損益	2,450



各科目直前期の留意点① 会計学

財務会計論

理論...回転! 典型論点(答練・直前講義テキストの演習・配付問題で扱っている論点)は、キーワードを使って説明できるように。★の多さに応じてキーワードを増やす。覚えにくいところは頻繁に。短答で重要な論点は、本試験までに1度「軽く」目に入れるなど。

★重要定義については、実際に一日1・2個書いてみるのも◎。
会計学基準集の使い方はWeb School「講座からのお知らせ」欄に動画・資料有り。

計算...アクセス等問題を一部実際に問いて▶テキストで他のパターン確認。

★アクセスに慣れ過ぎていたら、答練を一部使う。



3. 各科目の学習法

財務会計 論点ごとのメンテナンス例

【ポイント】
学習者の固定化・解くべき問題の定型的な正解性(やらせ・ミス対策)
テキストの知識維持・スピード

①論点をグループ化。 ②それぞれ該当アクセス・答練を書き出す。

1. 個別論点 テキスト1~4 ...ア1-3, 9, 10, 基1-1, 応1-3
2. 連結(在外) テキスト5~7 ...ア4, 6, 基1-3, 応2-1
3. 企業結合・事業分離等 テキスト8 ...ア7, 応1 *企業結合は細かい処理を記述するため、連結・事業分離・合併に限定
4. CP計算書(個別・連結) テキスト9 ...ア8, 11, 基3-1
5. S/S-包経利益計算書 テキスト4~7 ...ア3, 基2-1
6. 収益経費・外資経取引 (自分の苦手な論点やテキスト105号) ...応用2-3

③論点ごとに順に取り組む。 丸ごと解き通しては、ポイントの確認や、解き通して間違えた箇所のみ解く・30分で難易度Aだけ解く練習など、最終目的に応じて数回解く必要がある。

管理会計論 ★理論・計算双方のために、テキストを閉じて説明できるように。

理論...テキストのうち、論文対策問題集の論点は完璧に説明できるように。
本試験では、問題文の状況に合わせて説明。
単語穴埋めも問題なくできるように、テキストは満遍なく。

計算...テキスト暗記▶その単元の問題を実際に解いたり、解法プロセスの説明。

計算処理を想起するスピードの維持。

資料の読み取り・逆進問題への対応も考えて、実際解く練習も行う。

★アクセスに慣れ過ぎたら、復習の重要度を参考として、答練を一部使う。



各科目直前期の留意点② 会計学以外 (経営学選択の場合)

企業法

大きく力が足りていない・問いへの答え方が把握できていない場合、**早急に講師へ相談**。
 問題を読み取って論点に気づける・基本的な手続の趣旨をざっくり説明できるように、**テキストの理解**。
 答練(理論補強答練含む)・論文直前講義テキスト・論文問題集について、条文が引ける・答案構成ができるように。

監査論 ★初見時の問題文読み取り・答案構成と、**問いと答えの対応関係分析**が重要。

テキストのうち、**論文対策問題集の論点は説明できるように**(長い論証は「point」を中心に)。
 問われている論点に気づけるように(&基礎知識の確認のため)、テキストの流れを点検。
テキスト目次を見てざっくりページ構成が想起できるか。
 テキストのうち、重要な監基報は引けるように、大体の位置を確認。

事例問題については、答練や問題集後半で**問題文の読み取り/引用、発想方法**をひとつおとり練習。

ex. 収益・資産・・・実在性と評価・認識・見積り 費用・損失・負債・・・網羅性と評価・認識・見積り

★問題・解答をワンセットで覚えようとしないうこと。類似問題が出ても、問題文の指示・状況によって解答は変わる。

租税法

計算... **アクセス等を一部解いて▶テキストの周辺知識暗記**(答練の優先順位は論文学習法セミナー資料)

★短期集中講義の論点を中心に、正確な暗記。

理論... 答練(理論補強答練含む)・理論テキスト例題から出題箇所を要約条文へマーク。

答練を解き直して▶要約条文5～15分通読★ゴシック体を中心に、大体のアタリが付けられるように。

経営学 ※Web School「学習フォロー」「教材」欄に、尾崎講師作成の「用語集」レジュメ有り。

理論... **テキスト(脚注含む)・答練(模試含む)・直前講義テキストで出てきたキーワード**について、穴埋め対策。
 ヒントとして人名が与えられるため、セットでおさえる。要点まとめなどへ一元化。

用語の説明が求められたら、**ある程度作文**できるように、理解&キーワード数個。特に章末問題の論点。

計算... 大きくインプット/アウトプットが足りていない論点について、先に潰す。不明点は質問へ。

潰し次第、順次回転へ(7～10日で公式を1周触れるように、問題をピックアップして取り組むなど)。

事前質問から 財務理論 収益認識に関する会計基準について

Q.収益認識の理論問題はどのように対策するのが良いでしょうか。



- テキストの内容のうち、**基準集を参照できない箇所**の理屈・処理（収益の金額・認識時点）につき、ある程度説明できるように要点を覚える（その他のテキスト記述は基準集に記載あり）。
 - p.479 有償支給取引
 - p.480 本人・代理人
 - (p.476-478 重要性等に関する代替的な取り扱いについては、容認規定と要件を軽くおさえる。)
- 基準集を参照して当てはめられるようにする。
 - ★「収益認識に関する会計基準」の「17項」に、
各ステップの詳細について「XX項からXX項参照」とまとまっている。
基準を使う際には、問題文から関連するステップを判断し、17項から関連項へ飛ぶ。
- 具体的な学習例
 - ① 財務計算 収益認識のテキスト例題や答練出題箇所について、計算処理ができるようにする。
 - ② それぞれステップ1~5のうちどこに関連するか、理論テキスト該当ページを想起して整理。
 - ③ 計算処理について、基準集を参照しながら説明できるか試してみる。

キーワード: 契約、取引価格、履行義務、支配の移転（使用を指図・便益を享受）、充足

持ち物リスト・当日のポイント

論文式本試験 持ち物リスト①

- ☐ 受験票
 - ☐ 写真票 (インターネット出願かつ短答免除者の場合。12月・5月短答受験者は不要。)
 - ☐ 時計 (試験会場には、通常時計がない。ストップウォッチは音が出ないものは使用可能。)
 - ☐ 電卓 (できれば2台。監査論・企業法でも使用する場合有り。)
 - ☐ ペン (5本以上など)
 - ☐ 修正テープ (3個以上など。会場近くは売り切れの可能性有り。)
 - ☐ 定規 (経営学グラフ作成や、管理会計 線形計画法などで使う可能性有り。)
 - ☐ 財布 (緊急時タクシー代として、1万円は入れておく。)
 - ☐ マスク
-
- ☐ 確認する教材 (ふせんを貼ったテキスト、計算論点チェックリスト、**やさしみス一覧**など。
目を通し切れる量に絞るのがおすすめ。)
 - ☐ マーカー・色ペン (**問題用紙にのみ使用可能**。単位・「～の観点から」等読み飛ばし防止に。)
 - ☐ 飲み物 (700ml以下のペットボトル。缶入り飲料は持ち込みができない。)
 - ☐ ご飯 (眠くならないよう、昼食は食べ過ぎず、こまめにおやつを摂るなど。)
 - ☐ おやつ (ナッツ、チョコ・キャラメル・ブドウ糖・ドライフルーツ、ミニようかんや梅干しなど。)

論文式本試験 持ち物リスト②

その他必要に応じて

- ☐ ホチキス (問題用紙を大問ごとに分ける場合に。問題用紙の裏は白紙のため、下書きに使用可能。)
- ☐ 耳栓 (試験前の注意事項説明中は外す。) ◀休憩/行き帰り時、周囲の答え合わせの声遮断にも◎。
- ☐ 頭痛薬・ストッパなど
- ☐ 替えのマスク (数枚) ※椅子が堅い場合に備えて、クッション持ち込みも可能。
- ☐ 消毒用アルコール・除菌シート
- ☐ 替えのコンタクト、めがね、目薬
- ☐ 休憩時用アイマスク
- ☐ 冷却シート・ハンカチ・タオル ◀ハンカチ等を試験中使用する場合、事前に試験官に申し出る。
- ☐ 上着・ひざ掛け・ティッシュ、雨天の場合替えの靴下など
- ☐ 折り畳み傘
- ☐ A4サイズの問題用紙が入るバッグ (口を閉じられるもの。足下に置く。)
- ☐ テンションの上がる音楽 (もしくは集中用に雨の音なども◎)

論文式本試験 当日のポイント①

※本試験前日に、以下の論点を確認

財務計算…配当時の準備金積立など

管理会計…費目別計算、EOQ、財務情報分析、NOPATなど

心構え

- 「想定外のことが必ず起きる」と心づもりしておく。

ex.机の縦・横幅が小さい、隣の人の電卓の打撃で机が揺れる、財務計算で総合2問

- 胸を張って、会場へ乗り込む。

多少やり残したことがあっても、ここまで来たら開き直る。最後はメンタル勝負。

- 本試験の難易度や傾向は突然変わることがある。

当日は科目ごとの点数目標等は設定しない。

特定の科目や論点が難しい・簡単という先入観を持たずに、問題に向き合う。

- 終わった科目のことは、一切振り返らない。目の前の科目・問題に集中する。

仲間と答え合わせはせず、会釈のみなどとする。

周りの声が耳に入らないよう耳栓や音楽を用意。

緊張を味方につける

- トイレの鏡で毎回自分に向かって若干微笑み、これまでの頑張りをねぎらう。
- 手のひら中央にある緊張を和らげるツボ(労宮)を押しながら、息を長く吐く。しばらく続ける。
- 心臓がばくばくしたら、あとでいい思い出になると捉えて、脈を測ってみる(私は130回/分でした)。
- こめかみ/耳周り/額/手のマッサージや、肩甲骨/ひじのストレッチ。数回スクワットも○。
- 計算でやらかしがちなミスのメモなどに目を通す。

解答時のポイント(やらかし対策は次ページ参照)

計算・理論科目共通

- 大問ごとに得点比率(≠偏差値)が付く。時間配分に注意する。
難易度にもよるが、大問一つについて、1時間を大きく超えないように。
大問ごとに平均を死守する。※素点ゼロの大問は、得点比率もゼロとなる。1点は取る。
- 解答用紙・解答欄取り違えに注意。指差し点検。

計算科目

- 比較的平易な箇所を正確性を重視して正答すれば、合格点に届く。普段通り解く。
単位や四捨五入の指示にチェック。

理論科目

- 「答練が当たった!」「もらった!」等思った時ほど、要注意。
論点を早合点しない。問題文を丁寧に読み取り、問われていることを見定める。
ex.「～の観点から」「～に照らして」「～を踏まえて」「～と比較しながら」
- 解答行数が余ったとしても、余事記載(問われていないことまで記述)で埋めない。
問いに対して、素直に丁寧に、「過」不足なく答える。
- 応用的な問題は、時間を掛けすぎないように、時計を見てから解き始める。

やらかしミスと対策例(論文式)

原因	対策例
①下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に過不足なく書く。 <u>月割計算</u> がある論点は特に注意。
②資料の読み飛ばし	<u>マーカーや色ペン</u> を使いながら読む。 (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能) ✓マークを資料左側に付す。
③下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに <u>下書きを大きく書く</u> 。
④電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(<u>処理を思い出すスピードを速くする</u>)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は気持ちゆっくり 1・2度だけ電卓を入れるなど。
⑤電卓や資料の転記ミス	転記時に、ペンで <u>指差し確認</u> 。電卓は体の近くで打つ。
⑥電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない。月割は指折り数えるなど。
⑦年度・決算日、税率、単位、 四捨五入、償還日・事業 供用日のチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む(問題用紙には使用可能)。 事前に計算論点チェックリスト(web school→「教材」) や、ミスを振り返る。
⑧問題文の指示をチェックしたが、 解答中に忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く。 解答直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

試験中、困ったときは

簡単な計算問題のはずなのに、端数が出た。

難問が続き頭が真っ白になった。資料の内容が頭に入っていない。

- » 一旦ペンを置き、上を向いて息を吐く。**トイレへ行ってもOK。**
周囲の焦っている様子を感じる。水を飲むなど仕切り直す。
四捨五入の指示を探す。マーカー・色ペンを引きつつ状況整理。
特定の問題に執着せず、比較的簡単な問いに全力で取り組む。

理論科目で、見たことの無い論点が出た。

- » 時計を見てから解く。「～の観点から」など**ヒントを探す。**
関連分野のテキスト記述を思い出す。
戻って来られなさそうなら、自分なりに数行答えて、次へ。

その他

重要事項再掲

就活について

重要事項再掲

■租税法 参考法令基準集 補足条文について

公認会計士・監査審査会から配付法令基準等一覧の訂正があったため、市販の法令基準集には、以下の記載が不足している。

法人税法

第4条の2

第4条の3

第4条の4

第61条の11

通常講義最終回 上級 18 回目で、上記につき補足条文を配布。

★自習時、補足条文 PDF を基準集に挟み込んで受験する。

※出版元の大蔵財務協会 HP でも該当箇所の PDF 配布済

■監査論 グループ監査 改正論点について

8月論文式試験から範囲に入る。論文直前講義を受講する。

■手続関連

□就職サポート登録（兼 理論補強答練受講手続・受験番号調査）

※企業法・租税法・経営学の理論補強答練は、通常答練と同等の重要性。必ず使う。

会計学基準集のプレゼント有り（法人税等会計基準で多少改正有り）

□Web School 配信講義 直前期過ごし方セミナー視聴（通学生は就職サポート登録が必要）

学習面：久野講師

就活面：相澤講師

□未受験の論文答練は、7月末までに受験・提出（全国模試以外は、締切を過ぎても採点・成績反映される。

TAC就職サポート 2023

★今年東京は 10/7(土)-接触禁止期間。情報収集できるのは9月しかないため、注意。

参考：東京事務所協定 <https://www.shinnihon.or.jp/recruit/pdf/2023kyotei1.pdf>



就活関連 最新情報

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support.html



就活に関する情報提供（論文式試験前）

◆ 主な法人採用ページリンク集

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/strength/employment_support/kansahoujin_leaf_2023.html

◆ 直前期過ごし方セミナー実施（就活オリエンテーション）
【WEB SCHOOL にて配信済】

◆ 就職ガイド

会計士受験生のための就職ガイド

<https://digibook.tac-school.co.jp/kaikei-job-2023/book/>



会計士受験生のための就職ガイド【エリア版】 【8月上旬発行予定】

※札幌など地区での就業や、I ターン/U ターン向け旅行ガイド付き

論文式本試験後

1. 就活に関する情報提供

◆会計士受験生のための就職説明会

8/21(月)から順次各地で開始。就活キックオフとして活用。

8/21(月)午後オンラインイベント

関東 8/22(火)13時-17時 新宿京王プラザホテル 対面イベント

[公認会計士受験生のための就職説明会 | 公認会計士 | 資格の学校 TAC\[タック\] \(tac-school.co.jp\)](https://tac-school.co.jp)



◆TAC 就職サポート公式 LINE（論文式試験以降、法人イベント告知）

<https://lin.ee/lFZZIDa>



◆8/25(金)19時-20時半 論文後オンラインセミナー(学習面・就活面)

講師：平林・相澤

2. 就活スキル UP

◆就職対策講義【7/21以降 WEBSCHOOL にて配信予定】

◆8/21(月)18時半-20時 就活オンラインマナーセミナー（初めて就活する方向け） 石川講師（進行補助 平林講師）

◆就活相談会（オンライン）【9月実施】

◆面接対策（オンライン+対面）【10月実施】参加者向けに ES 添削実施予定。

3. 個別相談

フリーコール 平日 14:00~17:00

オンライン相談 随時 (counselor@tac-school.co.jp にご連絡で日程調整)

最後に

ラスト1ヶ月はメンタル勝負です！

再度基礎を固めて、インプット・アウトプット自分なりに仕上げて、
自信を持って乗り込んできてください。

試験委員さんとキャッチボールをすることを忘れず、素直に答え続けましょう。

健闘を祈ります！ 平林

Q&A 抜粋

Q. 模試の判定について

→模試でD判定・・・これが仮に本試験であれば合格しているレベル。

直前答練の判定・・・成績が変動しても気にしない。復習に活かせばOK。

Q. 管理会計 アクセスではある程度取れるが、答練・模試が△

→答練のうち、自分にとって手応えがある問題を適宜使うなど。

メンテナンスの問題か？ 資料の読み取りか？ Web School「教材」欄 採点講評の問別正答率も参照。

Q. 企業法 波がある。第一関門に気付かないことも。

→問題の読み取りの局面に問題がありそう。まず第一関門に気付かなかった答練の復習・分析。

知識の抜け？ 読み飛ばし？ 原因がわからなければ、zoom・対面質問コーナー・質問ルームなどで講師に相談。

Q. 9月の法人ごとの就活スケジュールはいつ公表？

→8月中旬など。論文直後でOK。気になるのであれば、法人のマイページを登録してもOK。

もしも社会人受験生で出席できない場合でも、別日で設定など柔軟に対応してくださるので心配不要。

Q. テキスト10、どこまでやるか？

→テキスト7の補論（利益を消去）との関連で本社工場で利益を消去する点や、

子会社の新株予約権の扱いなど。22→23目標でテキストの構成が変わっているため、要注意。

【MEMO】